新時代の教育を支える働き方改革通信

～ My Revolution ～

第124弾（令和6年12月号）

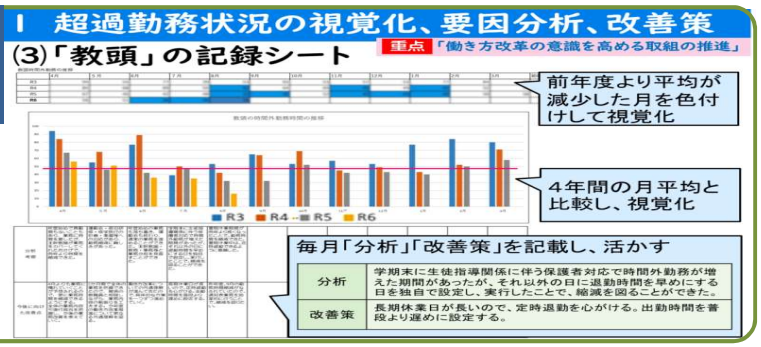
働き方改革推進事業中間報告会(上川・オホーツク・根室・十勝)のまとめ

中間報告会で発表された推進校等の発表内容から、特徴的な取組等についてお伝えします。

上川

教頭の勤務状況の視覚化（旭川市立東光小学校の取組）

教頭の業務縮減具体策として、教頭の時間外在校等時間を４年間の月平均と比較し視覚化。毎月「分析」「改善策」を記載し、業務縮減に活かしています。



オホーツク

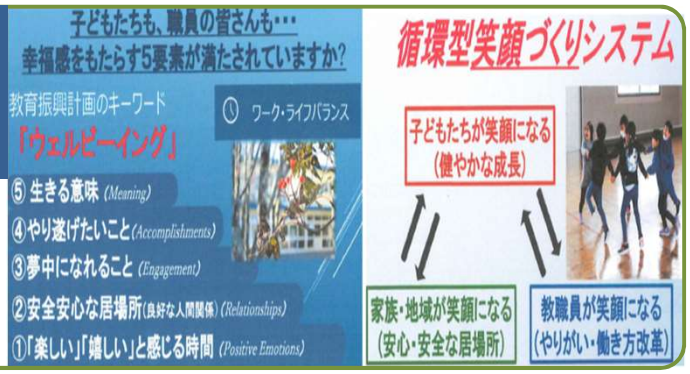
少人数の話し合いで職員意識変化（北見支援学校の取組）

少人数のグループで話し合うe-caféを実施。「学部が異なり普段話す機会の少ない先生方と話をすることができて良かった」という意見等が多数あり、職場の心理的安全性、同僚性を高めることにつなげました。

根室

ワークライフバランスを重視した学校・職場づくり（根室市立北斗小学校の取組）

ワークライフバランスの定義を共有し、職員意識の変化から職場環境を改善。若手教職員が生涯教職を継続できるよう、組織的な学校経営でモチベーションと力量伸長を図っています。



十勝

ポータルサイトで業務効率化（帯広市立西陵中学校の取組）

ポータルサイトを起点に、様々なデータへワンストップアクセスを実現。Googleチャットのスペース機能を活用して非同期型の打合せを日常化し、円滑な情報共有と業務効率化を実現しています。